今生の間に ―安身立命 普く自他を利するなり― （十版）

諸悪莫作　衆善奉行　自淨其意　是諸佛教　七佛通誡偈

この国むかし過った
世のため人のためなりを
限りをつけて考えた
さらにお国のためなりと
わたくし殺して公に尽すばかりを強要す

全体主義

戦い止んで人々は国に尽すを後悔し
なおさら大きな誤りの
自分のためだと思いこむ

利己主義

教え受けずにつつしみを知らぬ人々溢れたり

身口意の三業　三時の業報の理

正しく信を学びなば互いの大事を損なわず
世のため人のためなりも
限りをつけず利すること

信心不二　サッダー

無上意　即心是仏

二度ない命の我らなり欲を張らずに我が侭
せずに今生つつしみ調えん

精進　般若波羅蜜

宮城県大崎市　瑞川寺住職　木村謙文